

山縣貞胤

（山縣貞胤）

（元治元年生れ、明治四十二年七月（二十一日）歿）（一六

六番一（九一〇）。字子節。儒醫今村の庵の孫に當り、その庵の祖父山縣大貳の姓を継いだ。修史を勤務。號文哉。

繪書、山縣大貳著『柳子新論』（校正、明治十七年（二月）二十五日敬業

館藏）